

学級活動(1)指導案 (記入例)

令和〇年〇月〇日 () 第〇校時
 〇〇小・中学校〇年〇組〇〇名
 授業者 〇〇 〇〇

1 議題

児童・生徒が自分たちの生活から問題を見つけ議題として設定する。
 例:「～しよう」 ア 学級や学校における生活上の…

2 議題について

(1) 児童・生徒の実態

児童・生徒の学級生活における実態や、学級活動における実態、これまでの学級での取り組み等について書く。
 評価規準を踏まえた、話し合い活動における課題や目指す方向等について書く。

(2) 議題選定の理由

取り上げる議題の内容、今までに取り組んできたこととの関連、その議題を取り上げる意義、議題と児童・生徒との関係等を書く。
 議題が選定された背景や、教師の指導観等について書く。

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
例: ～ 理解している。 ～ 身に付けている。	例: ～ 見いだしている。 ～ 実践している	例: ～ 図ろうとしている。 ～ 築こうとしている。
<input type="checkbox"/> 評価の観点は、学習指導要領の特別活動の目標と自校の実態を踏まえて、各学校で設定する。その際、特別活動における資質・能力の視点(人間関係形成・社会参画・自己実現)をもとに重点化を図ることも考えられる。 <input type="checkbox"/> 「内容のまとめりごとの評価規準」は、特別活動の目標や各活動・学校行事の目標、各学校で設定した各活動・学校行事において育成を目指す資質・能力を踏まえて設定する。		

4 事前の活動

日時	児童・生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す児童・生徒の姿【観点】〈評価方法〉
〇月〇日 ()	<input type="checkbox"/> 児童・生徒の立場で書く。	<input type="checkbox"/> 指導者の立場で書く。準備物や具体的な手立てを書く。	<input type="checkbox"/> 事前・本時・事後の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。
〇月〇日 ()			
〇月〇日 ()	<input type="checkbox"/> 計画委員会の活動や学級全員の活動を統合して記述する方法、分けて記述する方法でもよい。		
〇月〇日 ()			

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

例：～することができる。

- 児童・生徒の立場で書く。
- 本時の評価規準との整合を図る。

(2) 教師の指導計画

話し合いの順序 中：生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す児童・生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
<p><input type="checkbox"/> 具体的に書く。 例えば 「始めの言葉」 「計画委員の紹介」 「議題の確認」 「提案理由の確認」 「決まっていること の確認」 「話し合いのめあて の確認」 「話し合い」 「決まったことの発 表」 「話し合いの振り返 り」 「先生の話」 「終わりの言葉」等</p> <p>話し合いの順序が 分かるように書く。</p>	<p><input type="checkbox"/> 話し合いの活動に沿って、指 導・支援の意図、指導方法の工夫 等について留意すべきことを具体 的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が主体的に学習を進 めるための手だて ・児童・生徒が対話的に学習を進 めるための手だて ・児童・生徒が学習を深めるため の手だて ・児童・生徒一人一人の活動状 況に応じた手だて <p>「～する児童・生徒に対しては、 ～について～することで～できる ようにする」等、具体的な指導・ 支援が分かるように書く。</p>	<p>◎目指す児童・生徒の姿 【観点】〈評価方法〉</p> <p><input type="checkbox"/> 本時における目指 す児童・生徒の姿と 整合した評価規準を 具体的に書く。</p> <p>◎「十分満足できる活 動の状況」と判断す る児童の姿 例：～し ている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価方法を具体的 に書く。 〈評価方法の例〉 ・発言の内容 ・行動の観察 ・学級会ノート ・ワークシート の記述 等</p>
<p><input type="checkbox"/> 生徒の立場で書 く。 例えば 「議題の確認」 「提案理由の確認」 「決まっていること の確認」 「話し合いのめあて の確認」 「話し合い」 「決まったことの発 表」 「話し合いの振り返 り」 「先生の話」 「終わりの言葉」等</p> <p>話し合いの順序が 分かるように書く。</p>	<p><input type="checkbox"/> 話し合いの活動と教師の指導・ 支援との関わりを対応させて書 く。</p>	

本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童・生徒の姿について、想定される児童・生徒の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童・生徒の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

6 事後の活動

日時	児童・生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す児童・生徒の姿 【観点】〈評価方法〉
○月○日 ()	□児童・生徒の 立場で書く。	□指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手立てを 書く。	□事前・本時・事後 の中で、どのように 評価規準が位置付け られているか分かる ように書く。
○月○日 ()			

7 板書計画 (電子黒板・ICT等の併用も考えられる)

□児童・生徒の思考を可視化・操作化・構造化する。

◇以下、授業づくりの際に参考にしてください。◇

小学校	中学校
国立教育政策研究所 『「指導と評価の一体化」 のための学習評価に関す る参考資料』令和2年3月   	国立教育政策研究所 『「指導と評価の一体化」 のための学習評価に関す る参考資料』令和2年3月   